

授業科目名 (英文名)	Intensive English 1	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	2～4年次 前期集中
担当教員	山本 祐子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>日常的な生活に必要な読む・聞く・話す・書くの4技能を、バランスよく使うことができるようになることを目的とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>授業では、英語の音声を聞き取る、英文を読む、英語で表現する、等のスキルを向上させるために、様々な教材を用いて取り組む。英語の自主学習の方法を身につけることを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 授業内容の説明。映画の台詞配布（役決めと読み合わせ）。英語発音の基礎を説明 2 . テキストUnit 1: United by Desperation . 子音b p t dの練習。映画台詞の練習開始（以下より記述は省略するが、引き続き台詞練習は毎授業ごとに行うことにする）。 3 . テキストUnit1: United by Desperation. 子音発音j sh r lの練習。 4 . テキスト 子音のまとめ。第1回発音課題テスト。 5 . テキストUnit 2: Prejudice and Egocentrism. アンケートを英語で作成する。 6 . テキストUnit 2: Prejudice and Egocentrism. 教室内でアンケート調査を英語でする。 7 . アンケート結果の報告書を英語で作し、英語で発表。 8 . Unit 4: Human vs. Property.. アクセント、文アクセント、内容語・機能語にかんする発音・リスニング訓練。 9 . Unit 4:Human vs. Property.. リエゾンの聞き取り練習 10 . RとLの聞き取り練習。リスニング総復習。 11 . Unit 5: Choosing a Home. プレゼンテーション・スキルを磨く：テーマ探しとスピーチの組み立て。 12 . Unit 5: Choosing a Home. プレゼンテーション・スキルを磨く：Ted Talk を真似る練習。 13 . Unit 6: Be an Intercultural Interpreter. プレゼンテーション・スキルを磨く：実際の発表練習。 14 . Unit 6: Be an Intercultural Interpreter. 総復習 15 . プレゼンテーション 		
テキスト	『Our Society, Our Diversity, Our Movies』 Joseph Tabolt, Koji Morinaga、金星堂		
参考文献			
成績評価の基準・方法	<p>日常的な社会活動において必要となる英語文や英会話を理解することができ、自分の考えを英語で記述することができるものに単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、SらCまで成績を与える。</p> <p>レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>少人数指導の為、40名程度を目安とする。</p> <p>希望者多数の場合はランダム抽選を行う。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考			